

すみだのミライアンケート第2弾「すみだらしさって何！？」 回答一覧

	すみだらしさ	将来にわたって「すみだらしさ」を確立していくために、まちとして大切にしていけるべき理念
1	まさに、下町人情 人が、優しくあたたかい街	住んでいる人が、墨田を知り、好きでいてくれていること それが原動力になり、地域の様々な課題解決に向けて、前向きにつながる
2	スカイツリーが出来たお陰で、観光客も増え世界の発信地と根付いている。	
3	下町の人情やふれあいが好きで住んでいる人達が多いところ	明暦の大火以降、本所の街が武家や寺社町家混合の街として作られて以降、綿々と繋がれてきた、災害があってもへこたれない、助け合って生きてきた歴史と風土を大切に、語り継ぐこと。
4	スカイツリー	容積率
5	川辺の美しい景色、江戸から続く文化や名所、食、町並み、人々のつながりや地域力の高さ、新旧が入り混じったまち、桜並木	区内の東西南北の回遊性を高めた観光ルートを作る。 すみだに住んでいる人がすみだの伝統文化を理解し、周りに発信していくこと。 こどもや大人、高齢者の憩いの場として水辺のエリアを利用する(カフェなど)。
6	江戸時代から、日本橋から豊川運河沿いに広がった物流拠点である商人の町である本所地域は、その後もものづくりや様々な個人商店ができ、活気のある町人の町があった。その後の被災や空襲の経験から火消など町人同士の助け合い文化が根底にあるはず。	関東大震災と東京大空襲を2つともくぐり抜けた、江戸から残る家系がほとんどいない。すみだが、本所区がどんな町だったかをまず区民が知る事が非常に重要。その上で『未来に繋がるこどもたち』を最優先し、時間、場所、知恵を共有し、どんな町にしたいかも一緒に考えて行く事が大切。 残すのはちょっと古い建物などのカタチでは無く、"人の生き方"である。 そもそも江戸からの建物など全部焼けて何も残っていない。同じ様な災害が起きないように常に災害対策をアップデートし続けるべき。
7	江戸と最新の融合した街	・伝統 ・最新技術
8	川の街、古きと新しさが共存する街	新規流入住民が魅力を知りつつ時代にあった変化をしていく街
9	向島花街や商店街など古き良きものとスカイツリーなどの観光地としての良さ	若者の住みやすい町、集まりやすい町、若者が好きになる町を目指して欲しい。 人が集まる事だけを考えるのはそれほど難しくはないが定住してもらい、町を好きになってもらう。町を発展させるのは若者なので。 結婚してこどもが出来たら江戸川区に引っ越しされてしまうとかではいけないと思う。 文化を作るのは住み続ける人なので。 みんなが住みやすい町を目指すのは行政としては当然だと思いますが1つ特色を出すと言う意味で若者に特化してアピールするのが良いと感じてます。
10	隅田川、桜橋、桜	新しいものばかりではなく、 古いもの、昔からあるものも大事にしてほしいです。 観光客ばかりではなく、墨田に住んでいる人にも寄り添ってほしいです。
11	自営業や衣料関係、車関係の仕事をしてる人が多く、職人さんや地元の産業を大事にしている。	マンションが増えて、ご近所付き合いが少なくなっていると思うので、ご近所同士の繋がりを大事にする。
12	下町コミュニティ、まつり	人と人がつながるまち
13	消防隊などしっかりとした団体が各町内にあること、町会単位の行事があるためか、一度人とながると、人と人のつながりが強い。 行政の担当者が墨田区に住んでいない方が多いためか、区内行事にボランティアで参加している人が少ない。	新しく住み始めた方と、もともと住んでいた方が簡単に交流出来るようにする、 町会運営がスムーズに行くように、条例など作成してマンション、企業なども町会運営に携わって欲しい。
14	自然や伝統を大切にしつつも新しい事に常にチャレンジできる人をコミュニティ全体で応援できるような存在	・自然と住民の共生 ・伝統文化と新しい文化の融合 ・未来のこどもへの教育(多文化共生)
15	地域の温かさに包まれている町すみだ！！ 地域のコミュニティが強く、人々が互いに助け合う温かさが感じられる場所です。地域イベントやお祭りなどが盛んに行われ、住民同士の交流が深まっていると思います	コミュニティの強化が鍵となる！！ 地域社会の絆を強化し、人々が助け合い、支え合う温かいコミュニティを築くことだと思います。 例→地域イベントやワークショップの開催、住民参加型のプロジェクトの推進、こどもからお年寄りまでが交流できる多世代交流の場づくり 人と人の繋がりが
16	錦糸公園などで、様々なイベントが開催され、老若男女全員が楽しみ、一緒になって街を盛り上げているところ	こどもを授かったカップルが、そのまますみだで暮らし続けられるまちづくり、安心安全なまちと道路
17	川向こうと呼ばれるが、下町お祭り文化、平らな土地、隅田川に隣接した水に近い場所。 いい意味でも悪い意味でも人とのつながりができる。	墨田区に住んでいる人が、自分のこどもも将来墨田区に居続けたいと思える様な、魅力ある街にする

18	古き良き建物	良い伝統は残しつつ、時代に合った進歩にも目を向け、改革していく必要がある。
19	下町文化があり日本橋付近から見たら、隅田川の向こうにあり、商人が隠居するのにもいい所かも？	川(運河)の有効利用をすすめて、北十間川も隅田川と繋ぐ閘門を設置願いたい。江東区の扇町閘門のように、災害があった時も船にて物資も運び込めるのでは？ また、区民の魅力ある川の利用をすすめて。
20	いつときの流行に惑わされない	助け合いの気持ちを大切にする
21	北斎美術館等	
22	祭りですつながってる人情がすばらしいです。 新旧の文化や歴史が今の街並みに生きている。 トリフォニーホールやジャズフェスなど音楽が街の中にある。 大企業と町工場や職人さんが共存共栄している。 世界の人が知っているスカイツリーや国技館がある。 区全体がテーマパークみたいです。	老若男女が生き生きと楽しく交流出来ること。 牛嶋神社や白鬚神社の氏子の繋がりを軸にして歴史を尊重しつつ、新しい文化を受け入れて世界のスカイツリーを通じてグローバルにつながっていいと良い。
23	隅田川、国技館、祭り、牛嶋神社、町会の繋がり、お相撲さん、ちゃんこ	・町並みの整備、統一感 ・こどもから高齢者まで、町会の繋がりを密に ・隅田川沿いの整備、活用
24	華やかで活気の有る街	地縁を大切に繋いで行く
25	新しいお店もあり、昔からの名店もあり！	暮らしやすさを常に更新、発信
26	墨田区内外問わず、人と人とのつながりを大切にし、おせっかいと思われる程に手間をかけて相手を思いやる心意気。 官民の連携による地域振興。特に食育事業ではその様子を感じ取ることができました。	官民協働をより強固なものとして、同じ志のもとに地域を大切にすること。
27	音楽の街、隅田川のほとりの街	・こどもが安心して自然に親しめる環境を守り続ける(大横川親水公園、隅田川、水上バスなど) ・北斎や芥川龍之介等、歴史人のゆかりを伝え続ける
28	下町とスカイツリー	
29	ものづくり、先端企業、宇宙、町会とご近所付き合い	・お年寄りが安全に暮らせる ・こども達がものづくりや最新の技術を学べる ・宇宙などのこれから発展する産業に注力して、新陳代謝する
30	汚い、下品、暗い、ケレン味、メジャーにはなれない、川が臭い、スカイツリーやソラマチができたというのにいまだに外国人に無関心、マイペース、浅草の真似、何かあれば祭、困った時には葛飾北斎、自虐的、関東で一番暮れなずむ町並みが美しい、なにもせずそこに立っているだけで過去と歴史を感じる独特の下町、汚くて臭い川を船がそっと渡っていくのを見送る町	自然をきれいにしたい。川は汚く道はゴミだらけ
31	地域のひとと人の繋がりが強い。	住んでいる地域の色々な行事、伝統を守り続けていく事。
32	古くからの文化や地元の方々と、新しい文化や人々が共存していく下町意識	せっかくすみだに住んで好きになっても、家族を持つ・こどもを育てるタイミングで、離れることがないよう、住み続けられるまちにして欲しい
33	昔から軽工業、ものづくりが盛ん。 美味しい和菓子屋さんや趣のあるカフェが多い。 スカイツリー。 "ちょうどいい"下町の雰囲気。	「すみだがいいんだ」と胸を張れる街へ。 また、理念とは異なりますが、サイトやアプリなど情報発信媒体となるもののUIUX向上は優先度を上げるべきだと思います。 くまなく調べると良い地域イベントが開催されていたりしますが、相当感度を上げないと見つけられませんか。
34	川と橋が美しい街で、単調なコンクリートジャングルの中で一服の清涼感がある。橋とテラスは気晴らしに最適。 こどもがこどもだけで公園などで遊んでいて、こどもだけの場を持っている。他の街だと住宅地でも墨田区ほど、こどもが外で遊んでないし学校帰りに遊ぶ公園もない。 近所の大人が通学途中のこどもに挨拶したり、地域のこどもを気にかける大人が多い。こども会など町内でこどもが親以外の大人と関わる機会も多い。町内会が活発。 一方で、錦糸町のような歓楽街の猥雑さも備えている。家族連れには好まれないが、これはこれで街の懐の広さだと感じる。 また、チェーン店ばかりの新興住宅街と異なり昔ながらの老舗や個人がやってるユニークなお店もあって地元の奥深さを感じる。	町内会の活発さはすみだらしさの一つである。これまでの住民同士の密なつながりは継続しつつ、新しい住人にも開かれていて愛着を持ちやすい現代的で合理性のあるコミュニティ作りが大切
35	人と人との繋がり	相手を思いやる優しさ、助け合いの心
36	偉人ゆかりの地である。(葛飾北斎など) ものづくりの文化がある。	墨田区民が墨田区の魅力や文化、歴史を理解していること。

37	都内でありながらも昔ながらの街並みや人情が残っており、地元根付いた伝統があると思います。	伝統や人との繋がりを残しつつも、時代を先取るような新しい仕組みも取り組むべきだと思います。
38	江戸文化、綺麗に区画整理されたフラットな土地、道の広さ、音楽	
39	人とのつながりを大切にしている。 お祭り事が大好き。	・地元を知ること。 ・地元を好きになってもらうこと。 ・人とのつながりを大切にすること。
40	「相撲、花火、ものづくり」などの伝統と、「スカイツリー、大学、情報発信」などの先進性が、「ひとのつながり」によって調和するまち	・すみだに住むこと、関わるのが誇りとなる ・すみだを知ることが誇りになる。
41	大それたことは申しませんが、私ごとですが元気で100歳までを目標にしています。 その為にも自主活動の体操教室に参加しています。 体操後仲間の皆さんとの親睦を図りたいと望んでいますが、一休みする喫茶店が私の地区、南方面にはありません。是非ともコミュニティーセンター内かアウトピアみどり内に喫茶室、談話室を設けてください(区のお力で)。 アウトピアの移転計画があると聞いています。今！その時ではないでしょうか。これこそが「ミライすみだ」と提案します。 老け込まない為にも高齢者は家に引き込まないこと、一日三人以上の人との交流が必須と言われております。高齢者に希望の光、何卒宜しくお願いいたします。	
42	・相撲部屋 ・保健、福祉が充実 ・夏祭りで垣間見える町内会のつながり	相撲部屋を観光へ活かす。相撲部屋と墨田区のイベントで集客。 人に優しい福祉。
43	下町情緒、人との関わりや触れあい。	墨田区に住んでいる人、一人一人が人を大事にするまちづくり。様々な角度で見て人に嫌な思いを平気でさせてしまう環境をなくせたらいいなと思います。
44	・便利さとレトロの両立 ・人情 ・自然と人工の両立	私は夫婦で墨田区に暮らす20代会社員です。日常生活を通して感じている「すみだらしさ」を、以下の視点から大切にしていきたいと思います。 1.「便利さ」と「レトロな風情」の共存 新旧の魅力が混在していることで、生活のしやすさと地域ならではの情緒を同時に感じられます。現代的な利便性(交通網、商業施設)と、昔ながらの商店街や職人文化を持続的に発展・継承することが、すみだの独特な魅力を高めると考えます。 2.地域の人情・コミュニケーション文化の維持 日常のちょっとした挨拶や会話が、住民同士のつながりを育みます。この温かな人間関係を育て続けることで、住民の愛着や誇りが深まり、地域コミュニティの質も向上すると思います。 3.都市的景観と自然環境のバランスの保持 スカイツリーのような人工的なランドマークと、川や公園などの自然環境が調和する街並みは、他の地域にはない魅力です。開発と自然保全を両立し、「都会の中のやすらぎ」を提供し続けることが、すみだらしさの大切な要素だと思います。 上記3点を大切にすることで、私たち新しい住民も含め、多くの人が墨田区の魅力を理解し、将来にわたって誇りを持てる「すみだらしさ」が確立できると考えています。
45	墨田のお祭りは誇れるものだと思います。 老若男女が、みんなで作り上げる祭りは最高です！ 墨田の和太鼓も素晴らしいと思います。	墨田の若い人たちに、墨田の魅力を発信すること。 学校等も巻き込んで、墨田の魅力、地元らしさをもっとアピールするべきだと思います。
46	ご近所さんとの付き合い方が良い意味で昭和的なところ。	ご近所同士、助け合える環境を整えること。災害等に備えた街作り。
47	歴史的に、江戸時代に明暦の大火によって大橋が作られ、武蔵と下総をつなぐ両国が発足しました。回向院には大火で江戸の町の6割以上が焼失し、10万人の人々が亡くなり無縁仏を供養しています。その後、相撲を定期的に開催して相撲のメッカとなり、人が大勢集まることで浅草と競うほどの繁華街に発展してきました。 そんな歴史的に見ても重要なポイントであり、数々の歴史書や小説などでも登場してくる土地でもあります。 また、両国、本所、向島は、文字通り「きっぱの良い江戸っ子」が息づいており、代々に渡ってその文化と価値観や生き様などは受け継がれてきています。 よって、歴史的な重厚さと偉人たちが闊歩した町であり、漁師町から発展した江戸っ子カタギの息づく伝統と文化の町だと言えます。	墨田区の文化を残すには、入力と出力が必要で、丁度「江戸東京博物館」が歴史と関連資料を有しており、区としてもそこを共有・利用しつつ独自に消失しつつある文化財を積極的に収集して行くべきであり、ソフト面でも今生存している方々の声や考え方などもさまざまな分野において記録して行くべきであると思います。 他方、出力の面では、定期的な歴史講座や講習会、ネットでの解説や話題作り、「江戸東京博物館」や「東京科学博物館」「国立東京博物館」、また各美術館などとタイアップして人々に知らしめて行くべきだと思います。(マスコミを大いに利用して)ほとんどの区民が知らない、または知らないことによって興味を持つことが出来ない不幸を取り戻すべく積極的に情報を発信して行って欲しいと思います。(SNSなど、YouTubeで情報発信等定期的に視聴できるように)
48	下町らしさと新しさが集まっている。こどもやお年寄り、障害者等全世代が地域でいきいきと暮らせている。	すみだの良さを区民が知っている、区が伝えようとする努力をしている。官民一体となって地域を作り上げていく。

49	昔は町工場が盛んで街のあちこちから「ガタンガタン」と音が聞こえてきました～その繋がりで小さな博物館はあるのだと思います◎是非、後世に残したいですね。そして、私は墨田区で産まれてずっと銭湯に行ってます。銭湯の風呂友は沢山いて、下町を感じます!	人との繋がり！
50	・隅田川 ・東京スカイツリー ・国技館 ・江戸文化 ・音楽の街 ・ものづくり	・すみだの魅力の発信 ・様々な人を巻き込むイベント ・江戸文化やものづくりを盛んに ・音楽イベントの充実